

各 位

平成15年度 作品賞 技術賞 業績賞について
～三菱地所設計ブランドの構築の一環として表彰～

株式会社三菱地所設計では、技術力・デザイン力の向上を図るため、優れた作品や要素技術と顕著な業績の社内表彰を実施しており、今般、昨年度の成果に対する表彰作品・技術・業績を選定しました。5月24日、三菱地所設計ブランドの構築の一環として、「平成15年度 作品賞 技術賞 業績賞」の表彰式を丸ビル・コンファレンススクエアにおいて実施しました。

1. 受賞作品・選定理由

○作品賞

最優秀賞

「日本テレビタワー」

日本テレビの新社ビル。放送が次世代へ向け大きく変化する時期にあって、大空間スタジオを抱えた超高層ビルの設計であり、求められた機能はいわゆる超高層事務所ビルとは大きくかけ離れたものであった。「超機能」のグランドコンセプトのもと、メガストラクチャーやバットレスを用いた特徴のある構造計画や様々な技術で、変化に柔軟に対応できる長寿命の建物を実現した。

優秀賞

「日本工業倶楽部会館・三菱信託銀行本店ビル」

歴史的建築物である日本工業倶楽部会館の保存再現と新たな街並みの形成を、計画・デザイン・技術の全ての面から、総合的に成し遂げた作品である。

「高千穂大学学生会館」

高千穂大学の創立100周年記念館。学生食堂、多目的ホールなどで構成されており、その機能ごとに、ボリュームの構成を明快に表現したデザインで、シンプルながら細部にわたり丁寧な設計がなされている。

「巢鴨スポーツセンター『思斎館』」

柔道場、剣道場、弓道場を併設する武道場で、小規模ながら力のこもった作品である。

「M.M.タワーズ」

当社の超高層住宅の設計技術を集約し、安全性、快適性、耐久性、社会性をさらに追及し、100年を超えて機能する、高品質で長寿命の住宅を実現した。

「パークハウスプレシア」

325戸の定期借地権付大規模共同住宅。高いデザイン性・品質を有しつつコストパフォーマンスの高い住宅を提供した。定期借地権付分譲住宅を対象とした国土交通大臣賞及び住宅金融公庫総裁賞を受賞している。

佳作

「ルクセンブルグハウス」

大使館を合築した共同住宅。外に対しては端正なファサードの構え、内に対しては中央部に自然を取り込み開かれた共用空間を有する。都心居住の新たな形を提案した。

奨励賞

「KG 天神ビル」

福岡市の都心にある貸事務所ビル。手堅く纏められ、シンプルで安心感のある建物。コストパフォーマンスが高く確かな品質のビルに仕上げた。

○技術賞

「ブラインド制御用直射照度検出端の開発」

これまでの電動ブラインドの自動制御が、雨天や夕刻のまぶしい日射に対し適切に作動しなかったことを改善。独創的な発想により、根本的原因である照度センサーの代替装置を、簡易で確実な方法で開発した。(特許出願中)

「SMART-VAV空調機」

従来の空調の温度・湿度や空気質のバラツキを、循環空気と外気を空調ゾーン毎の状況に応じ可変供給できるようにシステムを組替えることにより効率的な空調を可能にした。また、大幅な空調動力の削減により省エネルギーを実現している。(特許取得済)

○業績賞

コンペやプロポーザルで当選し三菱地所設計ブランドの構築に貢献した2件を選定した。

「博多駅開発設計業務プロポーザル」

「追手門学院大学(仮称)中央棟建設工事設計提案競技」

2. 各賞の趣旨

「作品賞」 建築として総合的に作品を評価。優れた作品を「優秀賞」とし、その中で特に優れたものを「最優秀賞」とする。

「技術賞」 当社主体の発想により取り纏めたエンジニアリングに係る要素技術やシステム。

「業績賞」 コンペ・プロポーザルで特定された作品のほか、コンサル業務としての成果や業務改善に寄与した技術のうち優れたもの。

以上